

オーストラリア金融政策（2021年5月）

経済見通しを上方修正、7月に政策変更へ

2021年5月6日

7月にYCCの出口が明確になる公算

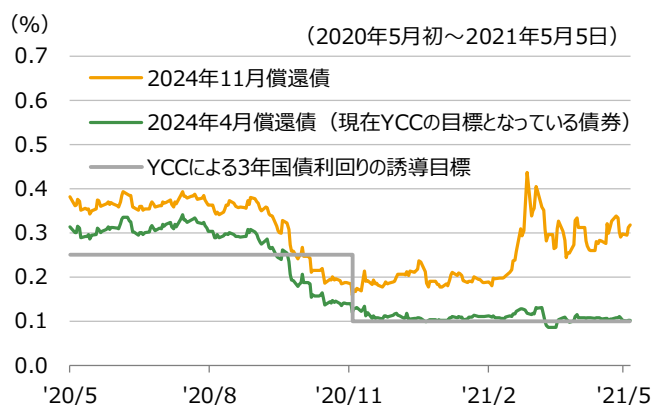
RBA（オーストラリア準備銀行）は5月4日（現地）、市場予想通り政策金利とYCC（イールドカーブ・コントロール）における3年国債利回りの誘導目標をいずれも0.1%で据え置き、ターム物資金調達ファシリティと量的緩和も現状の方針を維持すると発表しました。

声明文では、経済が想定より力強く回復しており今後も継続する予想だと記され、経済見通しが上方修正されました。具体的には、今年の実質GDP成長率が4%から4.75%へ上方修正され（来年については3.5%のまま）、来年末に失業率が4.5%まで低下し（従前は5.5%）、2023年の半ばにインフレ率が2%まで上昇する（従前は1.75%）との見通しになりました。

また、YCCの目標となる債券を2024年4月償還債から2024年11月償還債に切り替えるかどうかを7月のRBA理事会で検討すると明記されました。RBAは「実際のインフレ率が目標の2~3%内で持続的に推移するまで利上げしない」としてはいますが、最新の経済見通しに沿えば、2023年半ばからインフレ率が目標圏内で推移し、2024年前半には利上げの条件を満たすことになりそうです。したがって、2024年前半には利上げできる体制を整えるために、つまりYCCが2024年4月に終了するように、YCCの目標となる債券を2024年4月償還債から切り替えない決定が下される可能性が高いと考えられます。

同じく7月のRBA理事会では、量的緩和の継続も決定されるとみられます。現在、量的緩和の買い入れ枠は2,000億豪ドルですが、9月初旬までにはその上限に達する見込みのため、買い入れ枠の拡大が予想されます。RBAは、7月にYCCの出口を明確にする一方で量的緩和の継続を発表することで、金融政策スタンスのバランスを取り、過度な金利上昇や通貨高の抑制を図ると思われれます。

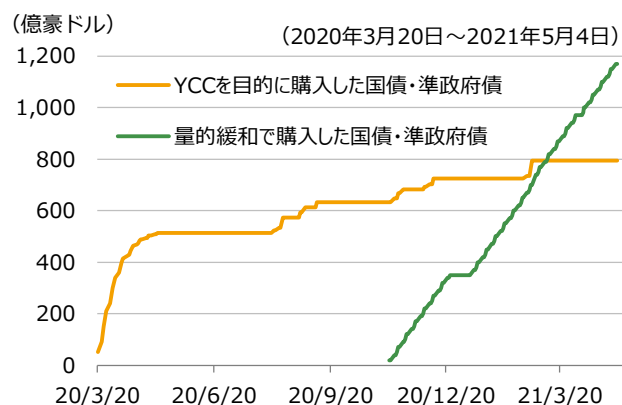
償還まで3年程度の国債の利回りとYCCの目標



※YCCによる3年国債利回りの誘導目標は決定日ベース

（出所）ブルームバーグ

RBAによる国債・準政府債の購入額（累積）



（出所）RBAより大和アセットマネジメント作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。